

令和7年度 薬剤師募集要項

1. 応募資格

令和7年3月に薬学部を卒業見込みの方、
もしくは有資格者

2. 提出書類

- 1 自筆の履歴書(本院指定の書式。HPからダウンロード可能)
- 2 大学の成績証明書
- 3 大学の卒業見込証明書(有資格者は卒業証明書)
- 4 健康状況申告書(本院指定の書式。HPからダウンロード可能)
- 5 薬剤師免許証の写し(有資格者)

3. 願書締め切りおよび試験日 (令和6年3月～4月予定)

詳しくは、HPをご覧くださいか、
本院人事課までお問い合わせ下さい。

4. 試験内容

書類選考、適性検査、
面接試験により選考を行います。

■ 病院見学会

相談に応じて随時受け付けております。

【連絡先】

人事課
TEL:0776-36-3630(代)
E-mail:jinji@fukui-med.jrc.or.jp
HP:https://www.fukui-med.jrc.or.jp/



◆ 勤務形態

8:30～17:00 / 完全週休2日制(週あたり実働38時間45分)
※宿・日直あり※転勤なし

◆ 休暇

年次有給休暇、創立記念日(5月1日)、産前・産後、育児休業、介護休業、
特別休暇(結婚、忌引き、永年勤続休暇、介護休暇、子の看護休暇など)

◆ 給与

基本給239,700円(6年制大学卒業者)
※上記に日直手当、宿直手当、時間外手当、通勤手当、住居手当、
扶養手当、抗がん剤調製にかかる特殊勤務手当等が加算されます。
※期末・勤勉手当あり(令和5年度実績 年2回 4.3カ月)

◆ 福利厚生

- ① 各種社会保険あり
- ② 院友会(病院職員で組織する互助会)
 - テニス、バレーボール等のスポーツやゴルフ、ボウリング、釣り等のレクリエーション活動
 - 職員旅行(国内・海外)
 - 観劇・コンサート等のチケット補助、院内誌発行等
 - 診療見舞金制度
- ③ 日赤グループ独自の福利厚生制度あり
 - 慶弔見舞金 ● 日赤グループ保険(生命保険・医療保険)
 - 永年勤続記念品(旅行券)
- ④ 院内保育施設
- ⑤ 職員寮(ワンルームタイプ)
- ⑥ 認定・専門の資格取得への補助



お気軽にお問合せください。





赤十字病院としての使命を果たすとともに、患者さんの健康で豊かな生活を支援いたします。



薬剤部からメッセージ



薬剤部長
渋谷 貞一
TEIICHI SHIBUYA

福井赤十字病院では、チーム医療に積極的に取り組み、薬剤師もチームの一員として患者さんに安全・安心で効果的な薬物療法を提供するために活動しています。薬剤師となる皆さん、私たちと共に学び、信頼される薬剤師を目指しませんか。

病院の理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

薬剤部の理念

医薬品の適正使用・適正管理を通じ、患者さんの健康な生活に貢献します。

病院概要

病 院 名 福井赤十字病院
所 在 地 〒918-8501
福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代)
FAX.0776-36-4133
開設年月日 大正14年4月1日
院 長 小松 和人
許可病床数 534床
診 療 科 内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心血管外科、皮膚科、腎臓・泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科
職 員 数 1097名(うち薬剤師30名)
令和6年1月1日現在

- ◆日本医療機能評価機構による病院機能評価認定病院
- ◆地域医療支援病院
- ◆地域がん診療連携拠点病院
- ◆地域周産期母子医療センター
- ◆災害拠点病院
- ◆福井県ドクターヘリ受入病院

あなたが輝く場所がある。



薬剤師経験7年(徳島大学卒)

多職種と協力しながら チームで向き合う。

入職6年目からNSTに参加しています。多職種が集まることで様々な視点から治療に介入し、自分では気づけなかった患者さんの問題点を知ることができます。その際、患者さん1人に対し、多数の医療従事者が関わっていることを実感します。チームの一員として関わることにやりがいを感じると同時に、自身のスキルアップに繋がっています。

一日のスケジュール

- 8:30 ICUカンファレンス
- 8:40 早期栄養介入カンファレンス
- 8:50 ICU病棟業務
- 10:30 1-8病棟業務(消化器内科病棟)・服薬指導
- 15:00 NSTチームラウンド



病棟業務で患者さんの投薬を看護師と協議 NSTチームラウンド

安全な治療を支えるために 細心の注意で日々業務。

抗がん剤調製は薬剤の特性を考慮しながら調製しています。曝露対策を十分に行い、自分自身はもちろんのこと他の医療従事者が抗がん剤に曝露しないよう細心の注意を払いながら調製しています。抗がん剤調製が落ち着いた後は、翌日の化学療法予定患者さんのカルテを確認し、治療内容について医師と協議しています。自分の提案が患者さんの安全な抗がん剤治療につながるため、とてもやりがいを感じています。

一日のスケジュール

- 8:30 手術用麻酔セット準備
- 8:45 抗がん剤調製
- 13:30 翌日の抗がん剤準備
- 14:30 注射オーダーセット



抗がん剤調製



手術用麻酔セット準備



翌日の抗がん剤準備



薬剤師経験4年(名城大学卒)

災害救護活動

昨今、災害時における医療体制が変化していく中で、薬剤師の役割も大きなものになっています。その社会的ニーズに応えるべく、災害時に対応できる薬剤師を育成しています。災害が起きた際は、医療救護班の一員として出動し、被災された方々を全力でサポートしています。



東日本大震災(調剤業務)



東日本大震災(服薬指導)



熊本地震(市の職員と話し合う様子)



台風19号災害(長野県)(避難された方へのケア)

教えて! 薬剤部 Q&A

Q 現在は何人の薬剤師が働いていますか?

A 現在は男性20名、女性10名の計30名の薬剤師が在籍しています。入社5年目以内の薬剤師が5名、6~10年目の薬剤師が13名であり、頼りになる先輩がたくさんいます。

Q 当直業務はいつごろから入りますか? 忙しくはないですか?

A 当直業務は一通り業務を覚えた冬から入るのが一般的です。主な業務は簡単な調剤業務(救急外来および入院)、伝票による薬剤の払い出しであり、それほど難しいものではありません。また、業務が一段落すれば仮眠を取ることができ、業務終了後は朝から帰宅できます。

Q 学会に参加することは可能ですか?

A 学会には業務に影響のない範囲で自由に参加することが可能です。また、資格の取得や継続、発表など一定の条件を満たせば病院の補助を受けて学会に参加することが可能です。

Q 休みはどのような感じで取得できますか?

A 入職時(4月)から有給休暇が付与されます。土日と合わせて取得することで長い連休にすることも可能です。

Q スポーツが好きなのですが、運動する環境はありますか?

A 当院では、野球、フットサル、バスケットボール、バレーボール、テニスなど、たくさんの運動部が活動しています。部に在籍することで他職種と交流したり、様々な情報交換をすることができます。また、日赤スポーツ大会では他の赤十字病院の運動部と試合をして日頃の成果を試すことができます。

あなたが成長できる環境がある。

薬剤師経験1年 摂南大学卒



当院を選んだ理由は？

様々な経験や知識を身に付けることができるよう病床数の多い病院で働きたいと思いました。当院で実務実習した際に、薬剤部の明るく活気ある雰囲気惹かれたことから当院を選びました。

薬剤部のいいところは？

薬剤部は、年齢や先輩・後輩関係なく活発な意見交換が行われており、些細な事も気軽に相談できる場所です。またそれぞれの専門分野や経験を活かし、日々お互いに高めあうことのできるところが薬剤部のいいところだと思います。

仕事を始める前と後で変わったなと感じることはありますか？

仕事を通して、積極的に自分で考え行動に移す力が身についたと感じます。多岐にわたる業務の中で、自分だけでなく周りの状況を見て判断し、次の行動に移すことを日々意識しています。

薬剤師を目指す人に一言お願いします。

まだ経験も浅く、不安に感じることもあります。信頼できる先輩方と日々多くのことを学ぶことができ、やりがいや楽しさを感じています。元気で明るい薬剤部で皆さんと一緒に働くことを楽しみに待っています。



薬剤師経験1年 摂南大学卒

当院を選んだ理由は？

薬剤師として様々な経験をしたいという思いがあり当院を志望しました。多数の診療科があり調剤、病棟業務、専門資格を活かしたチーム医療など、病院薬剤師の業務ができることに加え、赤十字病院の特色である救護活動にも取り組めることは幅広く活躍したいと考える私に合っていると思いました。

薬剤部のいいところは？

人柄がよく、信頼できる先輩薬剤師が多いところ。悩んでいたら先輩から声をかけてくれたり、些細なことでも相談に乗ってくれるため安心して業務に取り組むことができている。

仕事を始める前と後で変わったなと感じることはありますか？

責任感がより一層高まったと感じています。自分が行う仕事の先には患者さんの健康や命があり、それらを預かっていると肌で感じるようになりました。一つの過誤で患者さんの命を左右することもあるので、常に危険があることを肝に銘じて仕事に励んでいます。

薬剤師を目指す人に一言お願いします。

今しかできないこともあるので学生生活を全力で楽しんでください。国試勉強や卒論など辛いこともあるかと思いますが、頑張る時は頑張り、休む時はしっかり休んで自分の体・心を大切にしてください。薬剤師になれたら楽しいことが待っていると思いますし、私自身楽しんで病院薬剤師をできています。共にお仕事できたら嬉しいです！



キャリアラダー (レベルI)

1年目は指導者がマンツーマンで業務を指導・支援。薬剤師としての基礎となる知識・姿勢の研修を行います。

4月

■ 薬剤部の役割、業務全般についての講義

■ 調剤業務開始



■ 各種研修会に参加

6月

■ 注射調剤業務開始



7月
8月

■ 製剤業務、注射ミキシング業務開始



10月

■ TDM業務開始



11月~
1月

当直業務を開始

■ 病棟業務、薬剤管理指導業務開始



3月

■ 医薬品情報・治験・臨床試験業務



キャリアラダー(レベルII)の最終評価

認定

<到達目標>

薬剤師としての基本的知識・技術・姿勢を習得し、安全・確実に業務を実施できる。自分の役割と責任を認識し、自分の能力を超えて業務を求められたときには支援や指導を仰ぎ、業務内容について相談できる。社会人としてのマナーを身に付け、行動できる。

あなたを支える仲間がここにいる。



薬剤師経験6年
(金沢大学卒)

患者さんに寄り添いながら 最適な薬物治療を提供。

今年で入職して6年目になります。

1年目の頃は毎日基本的な業務を覚えることに精一杯でしたが、次第に仕事のペースを掴むことができ、現在では以前より余裕をもって仕事ができていると感じます。しかし、まだまだ日々の業務で分からないことや、疑問に思うことがたくさんあります。そのため今でも先輩方の助けを借りる場面が多いですが、みんな真剣に相談に乗ってくれるのでとても心強いです。

最近では病棟で業務を行うことが増えて、患者さんと直接お話しできる機会が増えました。薬剤の用法用量が正しいかをチェックすることはもちろん大切ですが、患者さんごとに生活スタイルや治療に対する考え方などが違うため、最適な治療というのは人によって異なると思います。今後はそういった面にも配慮して、より一人ひとりに最適な薬物治療を提供できるように努めていきたいです。



薬剤師経験9年
(摂南大学卒)

幅広い業務や院外活動など 多様なやりがいに出会える。

当院への入職を機に地元である関西を離れ、福井県にきました。入職当初より上司との面談や日常会話から、仕事面だけでなくプライベートについても気にかけてくれる環境であったことも手伝い、すぐに福井という地に慣れ、特に不安を感じることもありませんでした。

3年前からは福井県病院薬剤師会の学術委員に任命され、院外活動についても積極的に取り組み、多くの場面でやりがいを感じています。

現在、入職当初より関心のあった感染制御の分野に携わっており、今年度には目標としていた感染制御認定薬剤師の資格を取得することができました。

引き続き自己研鑽を怠らず努力し、患者さんへ還元できるよう努めていきたいです。

あなたの成長を優しく、時には厳しく
見守ってくれる先輩がいます。



薬剤師経験18年
(金沢大学卒)

業務がより円滑に行えるよう 育成や働きやすい環境作りを。

当院に就職してから日々の業務を行う中で、がん患者に関わる仕事に携わりたいと思い当時の所属長に他施設での研修の希望を出し、がん薬物療法認定薬剤師の資格を取得しました。資格取得後は主にレジメン管理や抗がん剤による副作用対策の構築、服薬指導を行ってきました。抗がん剤治療を初めて受ける患者さんは様々な不安を抱えており、治療内容の説明や副作用対策の提案を通して、その不安を少しでも和らげることが出来たらという思いで普段の業務を行っています。

現在は課長として薬剤部全体が円滑に業務を行えるよう調整し、若手の育成にも力を入れています。今後は薬剤師全員が働きやすい部署になるように、微力ながら尽力していきたいです。



薬剤師経験25年
(帝京大学卒)

頼れる仲間の存在と ママにも安心の職場環境。

大学卒業後、当院に就職し、結婚、出産を経て、現在に至ります。仕事に家事、育児と毎日大変ですが、家族の協力はもちろん、上司、先輩、後輩といった薬剤部の仲間のおかげでがんばっています。産後職場復帰したときには、子供を院内の保育所に預けていました。延長保育や病児保育もあるため、安心して働くことができました。仕事を理解してもらえる保育士さんやママ友に育児相談ができてよかったです。

現在は調剤業務、病棟業務の他、糖尿病療養指導士として院内の糖尿病サポートチームに所属し、患者さん向けの糖尿病教室や講演会に携わっています。これからも自分の経験を活かして後輩の皆さんの相談にのり、仕事もプライベートもサポートしていきたいです。

チーム医療の一翼を担う ～専門性を深化して、患者さんのために～

各チームに担当薬剤師を配置しています。
担当者は高い目標と向上心を持ってチーム医療に取り組んでいます。

がん化学療法チーム Cancer Chemotherapy Team

レジメンの作成や見直しなどの管理、患者さんに副作用が発現した際の対処方法や支持療法を医師に提案したり、患者さんに日常生活のアドバイスなどを行っています。

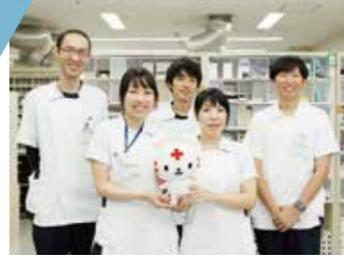


化学療法部会ミーティング



栄養サポートチーム Nutrition Support Team

病気や手術のために十分な食事がとれない患者さんに最も適切な栄養補給の方法の提案や、病気の回復や合併症の予防に有用な栄養管理方法の提案などを行っています。



NSTチームミーティング



緩和ケアチーム Palliative Care Team

患者さんの痛みなどの苦痛緩和のための薬物療法を提案することで、生活の質の向上に努めています。



緩和ケアチームミーティング



摂食嚥下支援チーム Eating and Swallowing Support Team

患者さんの摂食嚥下に対する薬物療法についてサポートしています。



摂食嚥下支援チームミーティング



感染防止対策チーム Infection Control Team

院内の感染防止対策を行ったり、抗菌薬の効果を最大限に発揮するため、適正な使用の推進を行っています。



ICTラウンド



医療安全推進チーム Medical Safe Promotion Team

インシデント・アクシデント事例の収集・分析・対策立案等を行い、安全な医療の提供に努めています。



医療安全推進チームミーティング



糖尿病サポートチーム Diabetic Support Team

糖尿病患者さんのあらゆる問題にチームで取り組み、糖尿病教室では糖尿病の患者さんや御家族に対し、薬物療法について講義しています。



糖尿病教室



褥瘡チーム Pressure Ulcer Team

褥瘡治療の促進と新たな褥瘡の発生を防ぐために多職種で協議しています。



褥瘡ラウンド



学会・研修会

スペシャリストになるために、当院では各種学会の認定・専門薬剤師を目指し、研修会の開催など、知識を深めるための支援体制を組んでいます。

各種認定

院内において薬剤師の関わりが様々なシーンで求められています。そのためにキャリア・スキルアップが重要になります。本院では、各種学会の認定・専門薬剤師を目指しています。認定・専門資格取得の際は一定の条件を満たすことで当院の資格取得補助金給付制度を利用することができます。

日本病院薬剤師会、日本医療薬学会

- ◆がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師
- ◆感染制御認定薬剤師、感染制御専門薬剤師
- ◆妊婦・授乳薬物療法認定薬剤師、妊婦・授乳専門薬剤師

日本静脈経腸栄養学会

- ◆栄養サポートチーム専門療法士

日本褥瘡学会

- ◆日本褥瘡学会認定師

日本臨床救急医学会

- ◆救急認定薬剤師

日本緩和医療薬学会

- ◆緩和薬物療法認定薬剤師

日本糖尿病学会

- ◆日本糖尿病療養指導士

日本化学療法学会

- ◆抗菌化学療法認定薬剤師

学会発表

業務への新しい取り組みやその評価など各自が研究テーマに取り組み、その成果を学会等で発表しています。



研修会

知識の維持・向上のため、病院の研修会、薬剤部での研修会を計画的に行っています。



全職員を対象として行う病院全体の研修会